

生命環境科学研究科 生命共存科学専攻（一貫制博士課程）

共通科目（生命共存）

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02AE010	生命共存科学特論I	4	1.0	1 - 5	秋B	集中			生命共存科学の生物科学分野に関する特別講義を行う。	本年度開講中止 2015/02/17開講中止決定
02AE011	生命共存科学特論II	4	1.0	1 - 5	秋B	集中			生命共存科学の地球科学分野に関する特別講義を行う。	本年度開講中止 2015/02/17開講中止決定
02AE012	生命共存科学特論III	4	1.0	1 - 5	秋B	集中			生命共存科学の応用生物化学分野に関する特別講義を行う。	本年度開講中止 2015/02/17開講中止決定
02AE013	サイエンスメディアエーション実践(インターンシップ)	6	1.0	1 - 5	通年	集中		佐藤 忍	教育機関、官公庁、非営利団体、企業等において、科学メディアエーションに関連した業務(科学教育、科学コミュニケーション、広報、イベント、技術移転、知財管理等)に携わることにより、科学に携わる者として必要な能力の向上を図るとともに、将来の進路選択に役立てる。事前にインターンシップ実施計画書を、実施後に報告書を提出する。	本年度開講中止 2015/02/17開講中止決定

専門科目（生命共存）

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02AE043	共生生物学演習III	2	3.0	3	通年	応談	研究室	鈴木 石根, 吉田 昌樹	3年次生を対象に共生生物学に関連する主要な論文、特に野外での観察を扱う論文を紹介し、その講読・討論を通じて共生生物学の最近の動向と全体像を理解させ、あわせて共生生物学的思考法、研究方法等についても理解を深める。	
02AE044	共生生物学演習IV	2	3.0	4	通年	応談	研究室	鈴木 石根, 吉田 昌樹	4年次生を対象に人工生命、コンピュータシミュレーションなどによる解析を扱う論文を紹介し、その講読・討論を通じて共生生物学の最近の動向と全体像を理解させ、あわせて共生生物学的思考法、研究方法等についても理解を深める。	
02AE062	共生生物学特別研究II	7	6.0	3 - 5	通年	応談	研究室	鈴木 石根, 吉田 昌樹	3年次生以上を対象に、共生生物学に関する実験・調査結果のまとめ方、データに基づく考察・討論の進め方、研究論文・学位論文の作成方法について具体的に指導する。	
02AE093	植物環境適応学演習III	2	3.0	3	通年	応談	研究室	佐藤 忍, 岩井 宏 暁, 古川 純	3年次生を対象に、研究課題に関連した論文の講読を通して、自身の研究の位置付けと今後の研究の展望を明確にさせ、新分野を開拓できる研究能力を身に付けさせる指導を行う。	
02AE094	植物環境適応学演習IV	2	3.0	4	通年	応談	研究室	佐藤 忍, 岩井 宏 暁, 古川 純	4年次生を対象に、研究課題に関連するより広い領域の論文を講読させ、専門分野での考え方の幅を広げるとともに、自身の研究課題について体系化し、学位論文をどのようにまとめるかについて指導する。	
02AE121	植物環境適応学特別研究II	7	6.0	3 - 5	通年	応談	研究室	佐藤 忍	3年次生以上を対象に、植物環境適応学における新研究領域の開拓を目指し、研究者として自立できることを目標とした研究指導を行う。あわせて、学位論文のまとめ方について具体的に指導する。	
02AE153	環境病理学演習III	2	3.0	3	通年	応談	研究室	恩田 裕一, 丸岡 照幸, 加藤 弘亮	主に環境病理学専攻の大学院生3年次を対象に、各自の研究の過程で得られた新しい研究知見や問題点など研究進捗状況の発表を行い、批評・討論を行う。	
02AE154	環境病理学演習IV	2	3.0	4	通年	応談	研究室	恩田 裕一, 丸岡 照幸, 加藤 弘亮	主に環境病理学専攻の大学院生4年次を対象に、各自の研究の過程で得られた新しい研究知見や問題点など研究進捗状況の発表を行い、批評・討論を行う。発表や討論は基本的に英語で行うこととする。	
02AE182	環境病理学特別研究II	7	6.0	3 - 5	通年	応談	研究室	恩田 裕一, 丸岡 照幸, 加藤 弘亮	3年次生以上を対象に、博士論文作成(最終発表)のための調査研究、論文作成の全般について指導を行う。	
02AE203	負荷適応分子生物学演習III	2	3.0	3	通年	応談	研究室	中村 顕, 高谷 直 樹	3年次生を対象に、研究課題を考慮した論文読解などにより、各自の研究課題の位置付けと今後の展望を明確にさせ、新研究領域を開拓できる研究能力を身につける指導を行う。	
02AE204	負荷適応分子生物学演習IV	2	3.0	4	通年	応談	研究室	中村 顕, 高谷 直 樹	4年次生を対象に、研究課題に関連するより広い領域の論文の読解を通して、専門分野での考え方の幅を広げる訓練を行う。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02AE222	負荷適応分子生物学特別研究II	7	6.0	3 - 5	通年	応談	研究室	中村 顕, 高谷 直樹	3年次生以上を対象に, 当該分野における新研究領域の開拓を目指し, 研究者として自立できることを目標とした研究指導を行う. 合わせて学位論文のまとめ方について具体的に指導する.	
02AE353	環境創生モデリング演習III	2	3.0	3	通年	応談	研究室	松下 文経	3年次生を対象に, 研究課題に関する論文の講読を通して, 自身の研究の位置付けと環境創生モデリング分野の今後の研究展望を明確にさせ, 新分野を開拓できる研究能力を身に付けさせる指導を行う.	
02AE354	環境創生モデリング演習IV	2	3.0	4	通年	応談	研究室	松下 文経	4年次生を対象に, 研究課題に関するより広い領域の論文の講読を通して, 環境創生モデリング分野での考え方の幅を広げるとともに, 自身の研究課題について体系化して, 学位論文をどのようにまとめるかについて指導する.	
02AE372	環境創生モデリング特別研究II	7	6.0	3 - 5	通年	応談	研究室	松下 文経	3年次生以上を対象に, 環境創生モデリングに関するデータ, モデリング結果に基づく考察, 討論を通して, 学会誌への論文投稿等の訓練を行うことから, 学位論文のまとめ方を具体的に指導する.	
02AE442	生物環境修復学特別研究II	7	6.0	3 - 5	通年	応談	研究室	中嶋 信美	3年次生以上を対象に, 生物が持つ環境修復機構を解明するに当たって, 問題点の抽出, 調査・実験計画の検討と実施, 結果のまとめ方, 研究発表の仕方, 討論について広い領域の知見をふまえたより高度な視点から指導する. さらに体系的な論理展開を持った研究論文, 学位論文の作成方法について具体的に指導する.	連携大学院方式における担当教員が指導教員となっている学生のみ受講可能